

資料2

(2) 千曲市の林業施策と課題について

資料2

千曲市の森林施策について

森林の概要

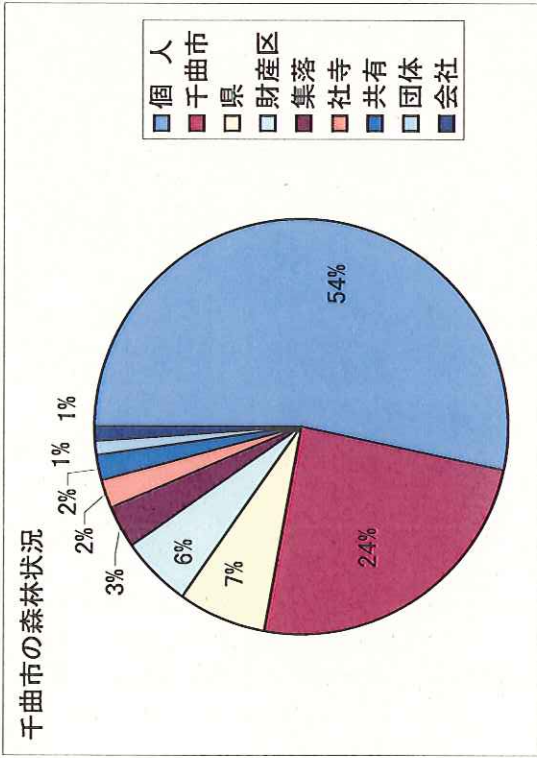
- 1 千曲市の森林面積は、6,858haで千曲市の総面積（11,984ha）の57%を占める。
- 2 国有林（注1官行造林地）171haを除くと6,687.09ha、個人有林は3,563ヘクタールで53.3%
市有林は1,633haで24.4%を占める。
- 3 市で管轄している森林は、市有林と事務局として施業を行っている財産区有林371.35ha
あわせ2004.32ha
- 4 60年生以下の人工林の面積は、2959.45ha（44%）そのうちカラマツ47%、スギ24%、
アカマツ21%、ヒノキ8%である。
- 5 個人有林の所有者は、3019名うち2084名（69%）が所有面積1ha未満です。
- 6 千曲市の保安林の面積は2179.41haうち市有林内713.23ha、財産区221.67ha。

注1官行造林地 国が管理している森林で、国と市が分収契約を結んでいる。
森林簿には表示されない。

森林の課題

- 1 人工林では、市有林・個人有林を含め成熟期（40年生～60年生）の森林が大半を占めており
計画的に利用間伐を進めるが、経済が低迷する中でどのように収益を上げ事業を進めて行くか
が課題となっています。
- 2 個人有林では所有者の山に対する関心が低く、所有面積が小さい天然林では場所や境界が
不明となっている。さらに不在地主も増えて山の施業（維持管理）が進まない。
- 3 森林は財産という側面だけでなく、森林の持つ公益的機能を果たす上でも重要であり、
「協働の森づくり」など森林・林業に対する更なる市民啓発が課題。
- 4 森林病虫害対策として、松くい虫によるマツ枯れやカシノナガキクイムシによるナラ枯れ
など、その対策について色々な観点から市民や専門家を含め判断をする必要があります。
- 5 山の手入れ不足や荒廃農地の増加に伴い、野生鳥獣の出没や農作物への被害が深刻化して
います。個人や行政だけの対応では困難な面もあり、地域での対策を講じる必要があります。

H19現在千曲市森林状況について



所有形態	面積 (ha)	%	内60年生以下の人工・天然別面積		
			人工	天然	計
個人	3,562.84	53.28%	1,076.57	1,657.98	2,734.55
千曲市	1,632.97	24.42%	1,090.45	231.83	1,322.28
県	471.97	7.06%	306.02	36.23	342.25
財産区	371.35	5.55%	200.83	76.66	277.49
集落	225.22	3.37%	138.64	36.33	174.97
社寺	136.99	2.05%	29.23	65.77	95.00
共有	133.29	1.99%	20.55	48.21	68.76
団体	78.89	1.18%	56.48	17.01	73.49
会社	73.57	1.10%	40.68	14.07	54.75
計	6,687.09		2,959.45	2,184.09	5,143.54

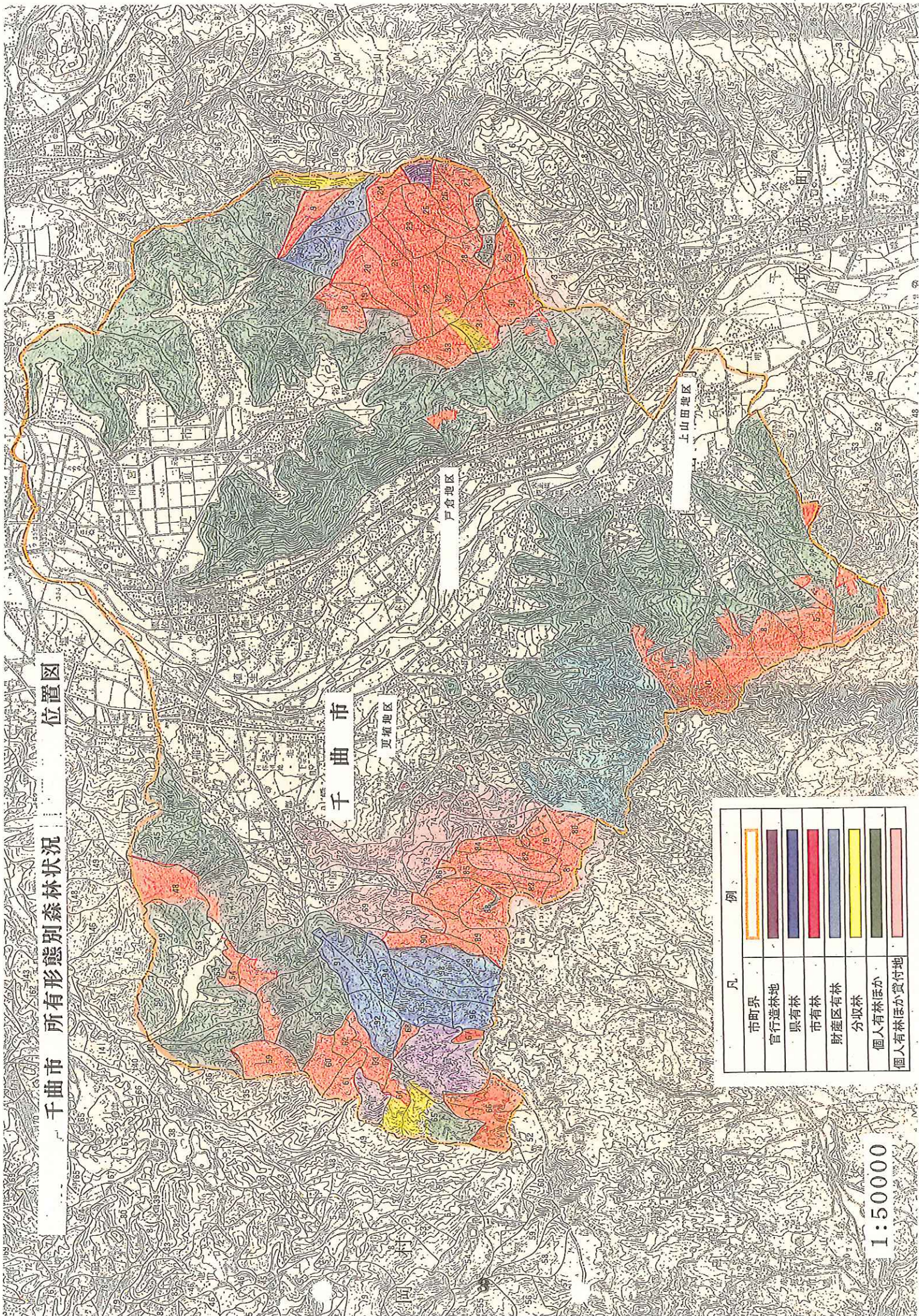
※127.85haは未立地・崩壊等

千曲市個人所有林 所有面積別表

所有面積	所有者数	面積 (ha)
50ha以上	0	0.00
20~49.99ha	4	129.77
10~19.99ha	24	320.54
5~9.99ha	82	524.08
1~4.99ha	825	1,689.66
1ha未満※	2,084	717.33
不明		181.46
計	3,019	3,562.84

※0.1ha未満は、416名21.58ha

千曲市 所有形態別森林状況 位置図



凡	例
市町界	
官行造林地	
県有林	
市有林	
財産区有林	
分収林	
個人有林ほか	
個人有林ほか貸付地	

1:50000